

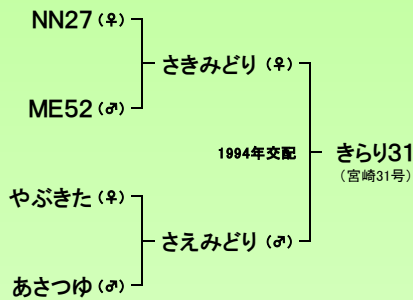
「きらり31」の特性

1 「きらり31」のセールスポイント

- (1)一、二番茶とも「やぶきた、さえみどり」よりアミノ酸含有率が高く、色沢も優れます。玉露、かぶせ茶に加工しても「さえみどり」と同等以上に優れます。
- (2)成葉の赤枯れや冬芽の凍害、裂傷型凍害は「やぶきた、さえみどり」より強い。
- (3)「やぶきた」より摘採が2～4日早い早生種であり、生葉収量は「かなやみどり」より多収です。

2 育成経過

- (1) 育成地 宮崎県総合農業試験場 茶業支場
(～2010年 農林水産省 茶育種指定試験事業)
(2011～2013年 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業)
- (2) 交 配 1994年(H6)
- (3) 登 録 2016年3月25日 品種登録
(登録番号 第25105)
- (4) 交配組合せ



写真：「きらり31」の一番茶芽

3 「きらり31」の特徴

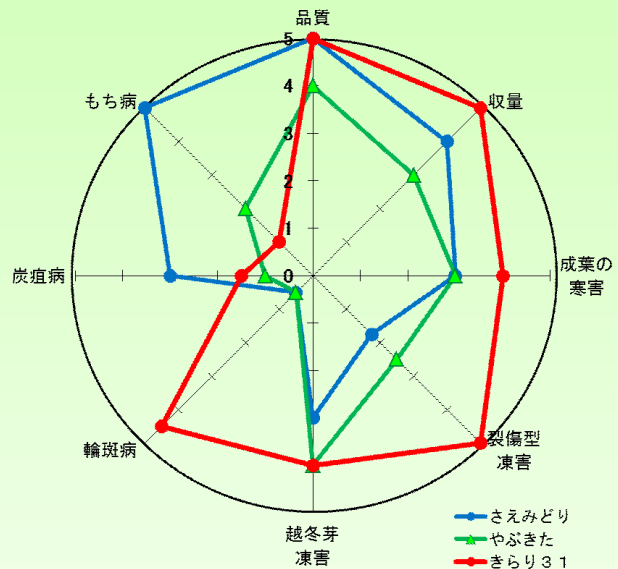
- ①樹 姿：中間
- ②株 張 り：やや大
- ③葉 の 形：長だ円
- ④葉の大きさ：中
- ⑤葉 厚：やや薄い
- ⑥葉 の 色：新葉 緑
成葉 緑

(2) 生態的特性

- ①樹 勢：強
- ②挿し木発根性：良
- ③一番茶萌芽期：「やぶきた比」-4日
摘採期：「やぶきた比」-2日

(3) 収量特性

一、二番茶ともに「やぶきた」より多収



図：「きらり31」の特性 (良・強=5～1=弱・劣)

4 栽培・加工上の注意点

- (1) 「きらり31」は早生種であるが、耐寒性に優れるので、防霜施設が整っていれば中山間地域を含む全国の茶産地で栽培が可能です。
- (2) 輪斑病の薬剤防除は不要です。炭疽病、赤焼病、もち病の常発地帯では多発する可能性があるため防除が必要です。